

岡本眸の秋の句

月しろの賑はひめける風のいろ
暗がりに曇積む音の良夜なる
さはやかに遺影の視野の端にゐる
見残せしものあり帰燕ひるがへる
露けさの指組む強く組みなほす

松岡隆子 抽